

ようこそ！ 国立極地研究所 南極・北極科学館 夏の企画展示へ

ペンギンはいったいどんな生き物なのでしょう。皆さんが普段よく見るハトやカラス、スズメなどとはちょっと違いますよね。そう、ペンギンは鳥ですが、空を飛ぶことはできません。岩場や氷の上をヨチヨチ歩くペンギンを見たことがあるでしょうか。その姿が人間を思わせるので、ペンギンは漢字で「人鳥（じんちょう）」と書きます。

ペンギンは空を飛べませんが、ひとたび海に潜るとその様子は一変します。まるで空を飛ぶ鳥のごとく海中を自由に泳ぎまわり、獲物を捕らえたり、天敵から逃げ回ったりします。でもその生態は、よくわかっていませんでした。そこで登場したのが、日本で開発されたバイオロギングというものです。これは、ペンギンの体にビデオカメラやデータロガーを取り付けて、どのくらいの深さまで潜るのか、ルッカリーとよばれる営巣地からどれほど離れた場所まででかけるのか、どんな獲物をどのように捕まえるのかなど、人間にかわってペンギン自身にデータを集めてもらおうというものです。

バイオロギングによって、ペンギンの生態が詳しくわかってきました。また、最近の南極観測隊の観測によって、南極の海の氷の状態が、ヒナの生存率や生育に大きな影響を与えることもわかりました。

今年の夏の企画展示「のぞいてみよう！ペンギンワールド」では、厳しい自然の中でたくましく生きるペンギンの世界に皆様をご案内します。知られざる彼らの生態を是非のぞいてみてください。



2019年7月
国立極地研究所
広報室長 本吉洋一